

パイロット式
背圧弁

B260型 背圧弁

蒸気用

Type B260 Back Pressure Regulating Valves

- 小型・軽量で高性能。
- 連続排出用です。
- 大容量です。



2 背圧弁 (蒸気用)

仕様及び材料

流体	一次側 設定圧力範囲 MPa	最高使用温度 ℃	主要部材料					管接続
			弁箱・ふた	主弁体・主弁座	ピストン・シリンダ	パイロット弁体 パイロット弁座	ダイヤフラム	
蒸気	0.07~0.2 0.1 ~0.8 0.5 ~1.0	220	铸铁(1)	ステンレス鋼	ステンレス鋼	ステンレス鋼	ステンレス鋼	フランジ JIS 10K 全面座

注(1) 呼び径 15 ~ 40 の弁箱は、球状黒鉛铸铁となります。

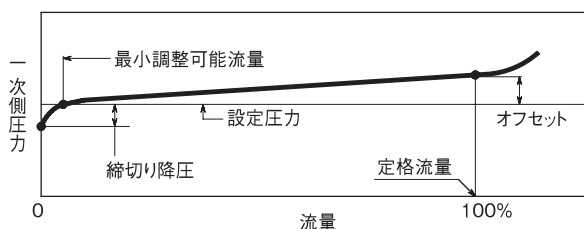
備考 1. 弁箱が铸鋼又はステンレス鋼铸鋼製も製作致します。

2. ASME クラス 150 も製作致します。

性能

	最小設定差圧	一次側圧力の10% (最小値0.07MPa)
オフセット	設定圧力 範囲MPa	0.07~0.2, 0.1~0.8 0.03MPa以下
	範囲MPa	0.5~1.0 0.05MPa以下
締切り降圧	設定圧力 範囲MPa	0.07~0.2 0.02MPa以下
	範囲MPa	0.1~0.8, 0.5~1.0 0.04MPa以下
	最小調整可能流量	定格流量の5%
	弁座漏れ量	定格流量の0.05%以下

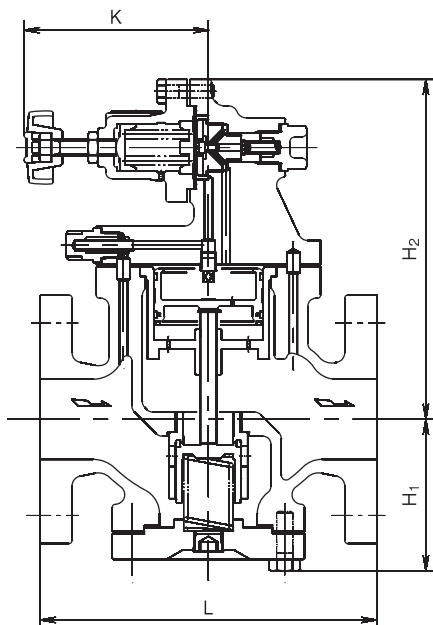
流量特性図



Cv値

呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80
Cv	1.1	2.5	4.5	7	10.1	18	28.1	40.5

構造及び寸法



寸法と質量

(mm, kg)

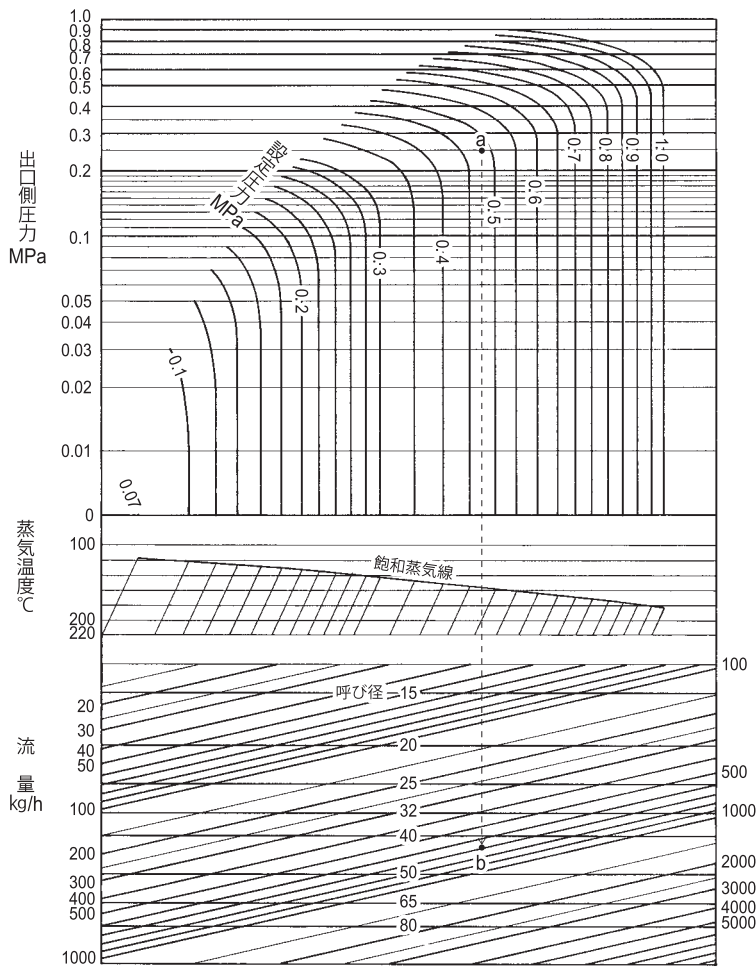
呼び径	L	H ₁	H ₂	K	質量
15	145	81	171	115	8
20	150	76	176	115	8.5
25	160	73	178	115	10
32	175	77	188	115	12
40	190	85	198	111	14
50	210	95	212	111	18
65	235	111	231	111	26
80	265	123	248	111	32

備考 1. K は調節ばねフリー時の寸法を示します。

2. 呼び径 150 まで製作致します。寸法・質量は P260 型減圧弁 (6 ページ参照) と類似です。

B260型 背圧弁

呼び径選定



呼び径選定図によって、適正呼び径を選定してください。呼び径が小さいと必要な流量が得られませんし、必要以上に大き過ぎてもハンチングを起こしたり、異常摩耗の原因になります。設定圧力及び出口側圧力が一定でなく範囲がある場合は、その差圧が最小となる設定圧力及び出口側圧力で呼び径を選定してください。そして、仕様の最小流量は、選定した呼び径の定格流量（最大差圧時の流量）の5%以上でなければなりません。

使用例

飽和蒸気
 設定圧力 0.48MPa
 出口側圧力 0.25MPa
 流量 700kg/h

設定圧力 0.48MPa と出口側圧力 0.25MPa の交点 a から下方に線を引き、流量 700kg/h の線との交点 b を求めます。この点 b は呼び径が 40 と 50 の中間になります。大きい方を選び、呼び径 50 が適当な背圧弁になります。

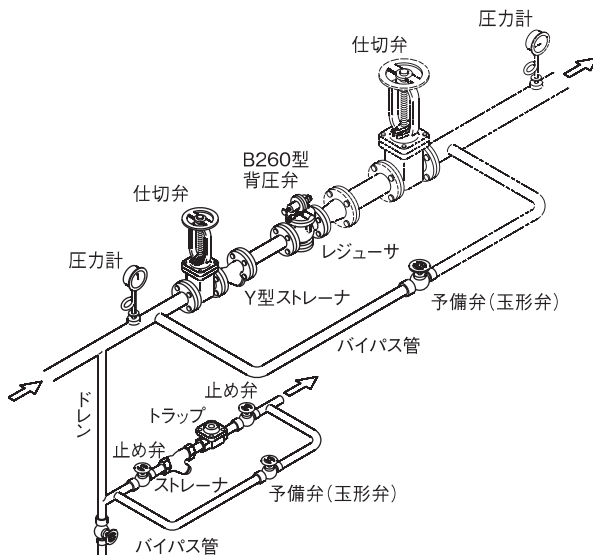
備考 過熱蒸気の場合、7 ページの選定図使用例⑥を参考にしてください。

分解・手入れに必要なスペース

(mm)

呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80
配管中心から下方に	200	200	200	200	220	250	270	300

配管例



1. 水平配管に正立に取り付けてください。
2. 出口側が大気開放の際は二点鎖線の部分は必要ありません。